

社会資本総合整備計画（地域住宅計画）の事後評価報告シート

1. 事後評価を実施した社会資本総合整備計画（地域住宅計画）	
①計画の名称	総社市地域住宅等整備計画
②都道府県名	岡山県
③計画作成主体	総社市
④計画期間	平成29年度～令和3年度
⑤計画の目標	「地域文化・自然が支える心豊かな生活交流都市」を目指し、安全で安心な住み良いまちづくりに資するため、総社市公営住宅等長寿命化計画に基づくストックの改善を行う。 空家等対策の事業を推進することにより、地域住民の生活環境の保全と空き家の利活用による地域活性化を図る。
2. 事後評価の内容	
⑥実施体制・時期	総社市において評価を実施（令和4年4月）
⑦事後評価の結果	<p>指標①：「市営住宅の長寿命化対策の推進」 定 義：建設後30年以上経過した中層耐火構造の市営住宅のうち、長寿命化のためのストック総合改善事業を実施したものの割合 評価方法：（改善事業実施済戸数）／（対象管理戸数） 結 果：従前値：50%（平成29年度）⇒目標値：75%（令和3年度） ⇒実績値：100% 結果の分析：計画期間内に予定していた事業の施工が当初の想定よりも進み、長寿命化型の改善が実施できたことから、目標を上回った。 （48戸／48戸）</p> <p>指標②：「市営住宅のバリアフリー化の推進」 定 義：簡易耐火構造の市営住宅のうち、福祉対応型個別改善を実施した戸数の割合 評価方法：（改善事業実施済戸数）／（対象管理戸数） 結 果：従前値：0%（平成29年度）⇒目標値：75%（200戸）（令和3年度） ⇒実績値：41%（82戸） 結果の分析：財源の関係で事業実施を先延ばししたものがあため、目標を下回った。</p> <p>指標③：「空家等の対策の推進」 定 義：市内空家等の実態を調査し、危険空き家、管理不十分な空き家や利活用が可能な空き家等を把握 評価方法：（空き家の実態把握戸数）／（空き屋の戸数） 結 果：従前値：0%（平成29年度）⇒目標値：100%（1000戸）（令和3年度） ⇒実績値：0%（0件） 結果の分析：コロナ問題や準備の関係で事業実施を先延ばししたため、目標を下回った。</p>
⑧結果の公表方法	総社市ホームページに掲載予定
3. 事後評価の結果を踏まえた今後の住宅施策の取組への反映等	
⑨今後の住宅施策の取組への反映	既存の公営住宅の長寿命化・福祉対応について、引き続き計画的に実施する。 市内空家等の実態調査については今後実施する予定としている。
⑩その他	なし